

# 文書館だより

Fukui Prefectural Archives



「勸業課長兼庶務課事務取扱辞令」(1881年 X0144 長谷川保敏家文書)

## 第6号目次

「古文書に親しもう～子ども編～」	2-3
「西谷村災害対策」	4
寄贈資料紹介	5
活動報告	6
お知らせ①	7
お知らせ②	8

第6号

2005.9

福井県文書館

## 特集

# 「古文書に親しもう～子ども編～」

福井県文書館では、より多くの県民の皆さまに利用していただこうと様々な取り組みを行っています。  
今回はその中で、若い世代に古文書に親しんでもらうために実施してきた活動を紹介します。



出張授業の様子

### 出張授業プラン

- 案① **簡単な近世古文書を読む**
  - ・文書館の入門講座のように(くずし字)
- 案② **教科書に登場する資料を実際にみる。**
  - ・花押
  - ・太閤検地帳、五人組帳、宗門人別帳、領知判物
- 案③ **近世の村の文書や家の文書をみる。**
  - ・太閤検地帳、五人組帳、宗旨人別帳、村法、連判状、村絵図
  - ・送り状、離縁状、借用証文
- 案④ **福井県誕生について**
  - ・公文録、税金通知書、絵図・地図
- 案⑤ **古文書からわかること**
  - ・領知判物、年貢割付状、税金通知書、新聞を使って

## ② インターンシップ受け入れ

昨年度から高校や大学からインターンシップ(職場体験)を受け入れています。今年度は夏休みに市内の中学校から2年生5名を受け入れました。文書箱(資料を保存するための箱)の組み立てや書庫清掃、目録カード作成などに取り組み、文書館の仕事を体験しました。

## ① 出張授業

7月13日に福井市内の高校にて、3年生の日本史の授業を選択している生徒を対象にはじめて出張授業を行いました。ちょうど授業で江戸時代の終わりまで学んでいたため、江戸時代の古文書を中心に紹介しました。原文書を初めて見る生徒がほとんどで、五人組帳や宗門改帳など教科書に出てくる実際の郷土の資料にふれ、歴史を身近に感じていたようです。

### 生徒の感想より

- 古文書は資料集でしか見たことがなかったのでピンとこなかったが、本物を見て実感がわいた。何百年前の物が残っているなんて本当にすごい。歴史というのはすごいなあと感じた。
- 最初は昔の人が書いたものなんて勉強してとも思っていたが、実際の古文書を見たときは正直すごいと思った。
- 1枚の古文書からいろいろなことがわかり驚いた。
- 古文書の保存は大変なんだと思った。
- 福井にも古い文書があるんだと思った。さらに歴史に興味がわいた。



「当巳春宗門人別改帳」  
(1869年 A0049中村綱吉家文書)

### ③ 文書館新聞

「郷土新聞」の作成や自由研究などの夏休みの宿題に、ぜひ当館を利用して資料を活用していただきたいという思いから、夏休み前に、中学生向けに「文書館新聞」を発行しました。今まで閲覧室の利用は大部分が大学生以上でしたが、夏休み中、資料を調べる中学生の姿が閲覧室内で見られました。



資料目録を検索している中学生



「足羽川鉄橋」(C0005 坪田仁兵衛家文書)



文書館新聞

### ④ 見学

併設している福井県立図書館と共に見学に来館した児童・生徒に対し、学年に応じて資料を示しながら文書館の説明をしています。明治・大正期の福井の絵はがきは低学年の児童の関心が高く、中学年以上の児童にくずし字を見せると、自分たちの書いている文字との違いにとっても驚きます。

福井県文書館では地域の生きた教材として、資料(公文書・古文書など)を学校教育現場に提供していきたいと考えています。出張授業や教材について気軽にお問い合わせください。

### Cover Photo Story

表紙写真：「勸業課長兼庶務課事務取扱辞令」(1881年 X0144 長谷川保敏家文書)

保敏氏の養父竹内林平氏は、勝山藩の公用人等を勤め、維新後は東京で太政官に入り、保敏氏も裁判所を振り出しに内務省・司法省、地方裁判所長などを歴任しました。特に1881年(明治14)の福井県成立時には勸業課長兼庶務課事務取扱係を勤めており、その辞令とともに同口付の「福井県二等属辞令」も残されています。成立当初の「福井県」からの辞令はほとんど残されておらず、大変貴重な資料です。

P.5の寄贈資料紹介にも関連記事があります。



◆◆ 歴史的公文書紹介 ◆◆

# 「西谷村災害対策」

No.52、13228～13231、13233、13234 (昭和40～43年)

昨年の福井豪雨、8月の嶺南の豪雨災害と、近年は県内でも局地的な豪雨災害が続いていますが、今からちょうど40年前にも福井県は大きな豪雨災害に見舞われました。

7月に新たに公開した歴史的公文書には、当時の西谷村(現大野市)の被害状況と復旧事業に関する資料が含まれています。復旧事業は思わぬ方向転換を迫られ、村の歴史は大きく変わってしまったことを、皆さんはご存知でしょうか。災害と復旧事業の行方を公文書からたどります。

1965年9月10日から18日、わずかに9日間に台風23号、集



被災した西谷村中島地区の様子(No.13231)

中豪雨、台風24号が相次いで襲来し、「40.9三大風水害」とよばれた災害は、県下に甚大な被害をもたらしました。中でも14日から15日にかけて奥越地域を襲った豪雨は、西谷村で年間

降水量の3分の1にあたる1,047mmを記録しました。公文書(No.13231)に残る記録によると、村内の被害は全壊家屋181戸、床上浸水46戸、床下浸水21戸などにのぼり、唯一の県道は各所で寸断されました。約270世帯1,200人の村は壊滅的な打撃を受けたのです。

これを機に廃村してはどうかという意見もありましたが、村は再建を決定し、西谷村上笹又地区へのニュータウン建設を骨子とする再建構想がまとまりました。県でも福井県西谷村事務所を設置し、復旧対策に乗り出します。

しかし、一方で建設省では以前から九頭竜水系へのダム建設が検討されており、西谷村がその候補地として浮上します。実現すれば水没の可能性もあり、再建に向けて動き出していた村は大きく動揺します。そして翌年7月、真名川防災ダム建設が正式に決定されました。再建計画は一転し、西谷村と県はダム建設に伴う補償や移住問題への対応に協力してあたることになったのです。

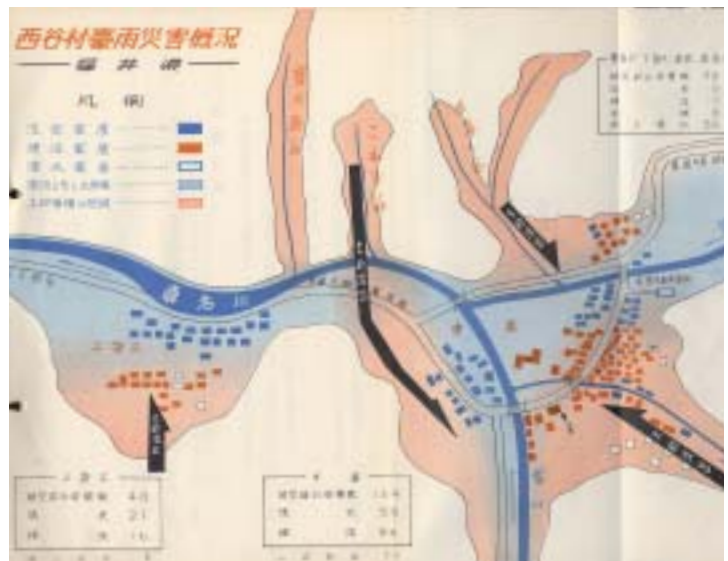
公文書には災害発生直後からダム建設対応にかけて、村から県、県から国へと度々行われた要望や陳情の文書が含まれています(No.13230、13231他)。また、県が県内市町村に照会を行って移住先の確保に努め、同時に就職、転職の斡旋等を行った記録も残されています(No.52、13229)。

補償をめぐるのは、国の補償が調査時点の現況で決定されるため、災害で流失した家屋については補償されないことになり、流出被災者と非流出被災者との補償額に差が生じるという問題が起こります。このため、県では大野市と西谷村の流出被災者に1億3980万円を見舞金という形で支出することを決定し、さらにこの補償についての免税措置を金沢国税局に要望しました。この間の県と近畿地方建設局や関係機関との度重なる折衝についても詳細に記録されています(No.13229)。

西谷村の住民の8割は大野市に移住し、移住が進む中で大野市と西谷村の間では合併への気運が高まっています。そして1970年7月、新・大野市の発足により西谷村はその歴史を閉じたのです。

災害復興からダム建設対策、そして合併へと村と県の取り組みは大きく変貌しましたが、公文書からは郷土を失った多くの被災者と、一貫してその救済に奔走した職員

の労苦が感じられるようです。



西谷村豪雨被害概況(No.13231)

◆◆◆ 寄贈・寄託資料紹介 ◆◆◆

# 寄贈資料紹介

今年度も県内外の資料所蔵者の方々から貴重な歴史資料の寄贈を受けました。  
お礼を申し上げるとともに、ここでご紹介いたします。(8月末日現在)

## 中村綱吉家文書 (A0049)

中村家は代々甚兵衛と称し別畑村(福井市)の庄屋を務めています。寄贈資料は、村の明細帳や年貢割付状などの村方文書29点です。村の明細帳は『福井県史』に記載されている1761年(宝暦11)の他、それ以前の54年(宝暦4)の明細帳があります。残存している村明細帳としては古く貴重な資料です。



「越前国丹生郡別畑村差出明細帳」  
(1761年)

## 佐々木曠家文書 (X0143)

佐々木曠氏は1874年(明治7)福井から上京し、東大医学部在学中は北里柴三郎氏と同期でした。その後岐阜県医学校校長や付属病院長を勤め、佐々木病院を設立するなど活躍しました。寄贈資料は「福井医学所再興ノ儀ニ付キ上申」(1880年)と「貨幣取調書太政官官版」(1868年)の2点です。



佐々木曠家文書(X0143)

## 長谷川保敏家文書 (X0144)

保敏氏の養父竹内林平氏は勝山藩の公用人等を勤め、維新後は東京で太政官に入り、保敏氏も裁判所を振り出しに内務省・司法省、地方裁判所長などを勤めました。寄贈資料は334点で、1871年(明治4)～1903年(明治36)までの「家政日誌」9冊は維新後の士族の軌跡をたどれる好資料です。



「家政日誌 巻」(1873～77年)

### 寄贈・寄託について

寄贈とは資料の所有が当館になることです。寄託とは、資料を一定期間文書館に預けていただき、管理を任せただく制度です。寄贈・寄託された文書は、くん蒸して殺虫殺菌し、温湿度の管理された書庫内に保管します。そして、資料の目録を作成し、県民の利用に供します。歴史的な資料をお持ちの方で、保存管理に困っておられる方は当館に御相談ください。

寄託資料については、次号で紹介いたします。

## 新たに公開した古文書紹介！ (8月現在)

新たに公開したものや近日中に公開できるものを、ここで一挙に紹介します。

(寄贈寄託文書は除く)

- |                      |                            |                      |
|----------------------|----------------------------|----------------------|
| ● A0013橘弥代治家文書 福井市   | ● A0017鈴木長右衛門家文書 福井市       | ● A0018東大味区有文書 福井市   |
| ● A0020山崎勇家文書 福井市    | ● A0021白崎九兵衛家文書 福井市        | ● A0022加藤七兵衛家文書 福井市  |
| ● A0023徳光区有文書 福井市    | ● A0024平崎伝右衛門家文書 福井市       | ● A0025多田完治家文書 福井市   |
| ● A0034千合区有文書 福井市    | ● A0039真浄寺文書 福井市           | ● A0041竹沢信剛家文書 福井市   |
| ● A0162清明公民館文書 福井市   | ● A0163橋本伝右衛門家文書 大野市       | ● B0036土肥春夫家文書 松岡町   |
| ● D0061山田伝右衛門家文書 清水町 | ● E0113堀芳男家 武生市            | ● I0130桑原六左衛門家文書 大野市 |
| ● K0042美山町民俗資料館 美山町  | ● N0100田井野区初講文書 若狭町        | ● X0019榊原秀四郎家文書 愛知県  |
| ● X0025内田吉左衛門家文書 東京都 | ● X0032大阪経済大学中小企業経営研究所 大阪府 |                      |

## ◆◆ 活動報告 ◆◆

講座

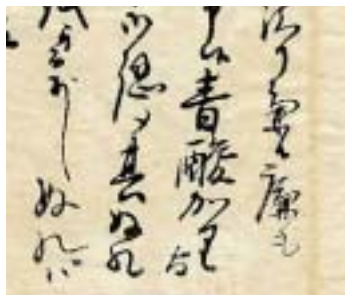
### 「古文書入門講座」

開催日：平成17年5月28日(土) 6月4日(土)  
開催時間：13:30～15:30  
講師：文書館職員  
参加者：57名

今年度は、古文書入門講座を本当に初めて古文書にふれる方にしほり、少し経験がある方対象としては初級講座を新たに開講しました。入門講座は人気が高く、予想をはるかに超える申込みがあり、変体仮名や数字、人名など古文書の基本を学びました。初級講座は2回連続で1

通の文書と関連文書を読みました。

その文書には、「青酸カリ」などという文字が見え、どきどきわくわくしながら読み進めていきました。



講座

### 「古文書初級講座」

開催日：平成17年6月10日(金) 6月17日(金)  
開催時間：13:30～15:30  
講師：文書館職員  
参加者：43名

資料保存  
研修会

### 「災害から資料を守る」

開催日：平成17年7月5日(火)  
開催時間：13:30～15:30  
講師：尾立和則氏  
(京都造形芸術大学芸術学部歴史遺産学科教授)  
参加者：42名

昨年の福井豪雨の経験をふまえ、資料を残すための被災資料の保全方法を学びました。昨年の香川県の高潮被害などで実施した事例などを示しながら、水につけた資料を乾燥させる作業の実演も行いました。



古文書  
相談

### 「よみます！古文書」

開催日：平成17年8月6日(土)  
開催時間：13:30～15:30  
助言者：松原信之氏、藤野立恵氏、舟沢茂樹氏  
(文書館資料調査員)  
参加者：15名

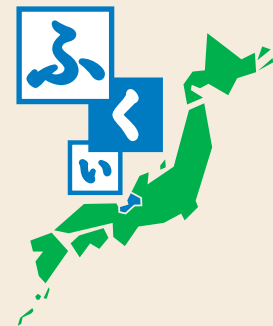
今年度新たに始めた活動です。参加者は持参された文書を示しながら、どのような内容の古文書なのか、保存はどうしたらよいのか、読めない字を教えてくださいなど、短い時間ながらも熱心に質問されていました。

平成17年度後期にもさまざまな行事を開催いたします。後期の講演・講座につきましてはP.8に紹介してあります。皆さまの受講をお待ちしております。



## 第31回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 全国(福井)大会及び研修会のご案内

- 1 期 日 平成17年11月9日(水)～11日(金)
- 2 共 催 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会・福井県
- 3 後 援 福井市
- 4 会 場 【研修会・総会・研究会・懇親会】  
福井県国際交流会館  
〒910-0004 福井市宝永3丁目1-1 / Tel 0776-28-8800  
【視察】  
福井県文書館  
〒918-8113 福井市下馬町51-11 / Tel 0776-33-8890
- 5 内 容 (1)研修会  
(2)総会 平成16年度事業報告・決算  
平成17年度事業計画・予算  
その他  
(3)研究会 大会テーマ  
「アーカイブズの新時代へー現場からの提言ー」  
(4)視察  
(5)機関会員刊行物展示・協賛企業等展示  
(6)懇親会
- 6 参加申込締切 平成17年9月30日(金) 必着



内容の詳細や参加申込方法などは全国歴史資料保存利用機関連絡協議会や当館のホームページに掲載してあります。  
全国各地から多くの皆さまにお越しいただきますようお願い申し上げます。

### 福井県文書館ホームページを御覧ください

ホームページでは、資料の検索の他、当館からのお知らせ、出版物、「福井県史」通史編、「図説福井県史」などが御覧になれます。

ホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.archives.pref.fukui.jp>

### 記録資料は貴重な財産です

家の建て替え・蔵の取り壊しなどで資料の処分を検討されていたり、保存方法がわからずに資料の扱いに困っておられる方は文書館までお知らせください。



## お知らせ②

### 講座・講演会のご案内

#### ■「古文書読解講座」 もっと古文書について知りたいという方に

平成17年9月30日(金) 10月7日(金) 10月14日(金)

13:30～15:30 定員40名(要申込み)

講師：文書館職員

会場：文書館研修室

#### ■ 県史講座

平成18年2月4日(土) 13:30～15:30

「白山への参詣道 一越前禅定道の調査を通して」

講師：宝珍伸一郎氏(勝山市教育委員会)

平成18年2月19日(日) 13:30～15:30

「古代武生盆地が担った国家的役割」

講師：真柄甚松氏(武生市教育委員会文化課)

会場：図書館多目的ホール

#### ■ 講演会

平成18年2月12日(日) 13:30～15:00

「泰澄と白山信仰」(仮題)

講師：本郷真紹氏(立命館大学文学部教授)

会場：図書館多目的ホール

県史講座、講演会は申込不要です。

### 「文書館探検隊」のご案内

平成17年9月17日(土) 13:30～15:30

対象：祖父母と孫(親子可)のペア

定員10組(要申込み)

文書館内をクイズに解答しながらオリエンテーリングします。  
参加賞あり。優勝ペアには豪華(?)賞品あり。



### 文書館だより Fukui Prefectural Archives 第6号

平成17年9月10日発行

編集・発行 / 福井県文書館

〒918-8113 福井市下馬町51-11 電話 0776-33-8890 FAX 0776-33-8891

ホームページアドレス <http://www.archives.pref.fukui.jp>

電子メールアドレス [bunshokan@pref.fukui.lg.jp](mailto:bunshokan@pref.fukui.lg.jp)

### ご利用案内

#### ■ 開館時間

午前9時から午後5時まで

#### ■ 休館日

月曜日(国民の祝日は除く)

国民の祝日の翌日(土、日、祝日は除く)

文書等点検期間(年間10日以内)

年末年始(12月28日～1月4日)

清掃整理日(12月以外の第4木曜日、祝日の場合は翌日)



### フレンドリーバス(無料)のご案内

運行日：毎週月曜日、年末年始(12.28～1.4)を除く毎日のりば：市内バス5番のりば

経路：福井駅前～福井駅東口～高志高校前～羽水高校前～生活学習館～市美術館～県立図書館(県文書館)(高志高校、羽水高校では、行きは乗車のみ、帰りは降車のみ可能です。)

運行時間：平日8:30～19:00 土日祝8:30～18:00

運行間隔：30分間隔

(5番のりば、県立図書館ともに毎時00分、30分発)

使用車両：路線バスタイプのバス2両で、

1両は車椅子用自動リフト付きです。

1両はノンステップバスです。

### 編集後記

たより第6号をお届けします。今号では、より多くの皆さまに文書館を利用していただくための取り組みを特集しました。今後も親しみを持っていただくためにさまざまな取り組みを行っていきます。